



シンポジウム

福岡空のモビリティ講演会

入場料・参加費

無料

第3回：空のモビリティの最新情報

開催日時：2024/2/13(火)15:00-18:00

開催場所：エルガーラ多目的ホール

有志による交流会
も開催します

第1部のみハイブリッド開催
(第2部は対面のみ)

プログラム

第1部：オートパイロット・管制・制御技術の最前線と未来 — 空クルの社会普及に必須とされるオートノマス運航についての管制・制御・通信の研究者に聞く

- ▶ ドローンの制御～単体の制御から群制御まで - 山本薫 (九大)
- ▶ ドローンと他の飛行体の安全を図るためのUTM(仮) - 久保大輔 (JAXA)
- ▶ 未来の都市のMaaSにおける空クルの役目・可能性(仮) - 日高洋祐 (MTJ)
- ▶ データ通信やセキュリティ・個人情報保護などの法的課題(仮) - 寺田麻佑

第2部：パネルディスカッションーソフトインフラの面から社会・市民への影響を考える (未来社会インフラ、公共交通・MaaS、データインフラなど)

- モデレータ：小島立 (九大法学研究院教授)
- パネラー：山本薫 (九大)、久保大輔 (JAXA)、日高洋祐 (MTJ)、寺田麻佑 (一橋大)

参加登録は
こちらから



登壇者プロフィール



山本 薫（九州大学大学院システム情報科学研究院准教授）

九州大学大学院システム情報科学研究院准教授. 2016年ケンブリッジ大学工学部情報学科制御部門 PhD 課程修了。ミネソタ大学電気情報工学科およびルンド大学自動制御学科でのポストドク研究員を経て、2018年より現職。ドローンをはじめとする移動ロボット群制御の研究に従事。



久保 大輔（JAXA 航空技術部門航空利用拡大イノベーションハブ主任研究開発員）
2008年より JAXA 航空技術部門に勤務。垂直離着陸（VTOL）技術研究、無人航空機関連技術の研究開発に幅広く従事。2017-2018年に NASA Ames 研究所において無人航空機と従来有人航空機間の運航管理技術（UTM）研究に従事。NEDO ReAMo プロジェクト JAXA 研究開発責任者。一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会（JUIDA）理事。東京大学大学院航空宇宙工学専攻修了、工学博士。



日高 洋祐（㈱ MaaS Tech Japan 代表取締役 CEO、(一社)JCoMaaS 理事）

東工大卒業後、JR 東日本に入社。車両メンテナンスや運輸業務を行った後、公共交通連携プロジェクトやモビリティ戦略策定などの業務に従事。在職中の2014年、東大大学院情報学府で日本版 MaaS の社会実装に資する提言をまとめる。2018年、㈱MaaS Tech Japan を創業。MaaS プラットフォーム事業などを行う。著書に、『MaaS モビリティ革命の先にある全産業のゲームチェンジ』（日経 BP 社）などがある。



寺田 麻佑（一橋大学ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター教授）

専門は行政法、技術と法、情報法。ドローンと法の研究について研究も続けており、ドローンハイウェイの研究なども含めて、スマートシティの法的課題の研究をおこなっている。また、地方公共団体におけるデジタル化・DX 化の課題に関する検討にも取り組んでいる。主な著書に、『EU とドイツの情報通信法制』（勁草書房、2017年）、『先端技術と規制の公法学』（勁草書房、2020年）。埼玉県個人情報保護審査会会長、東京都公文書管理委員会委員。



小島 立（九州大学副理事、大学院法学研究院 教授）

専門は、知的財産法、文化政策、科学技術イノベーション政策。私たちが多様性と包摂性を兼ね備えた形で科学技術の成果や文化的表現を享受するための制度設計について教育研究を推進中。最近では、出身地である福岡県直方市や筑豊地方の石炭産業遺産に関する研究も推進。2020年から「空飛ぶクルマ」の ELSI プロジェクト（JST RInCA）に従事。